

探訪關根摩耶

關根摩耶さんへのインタビュー
An Interview with SEKINE Maya

採訪者 | 陳由璋 (政治大學民族學系博士生)

圖 | 關根摩耶SEKINE Maya

取材者 | 陳由璋 (政治大學民族學系博士後課程)

圖 | 關根摩耶SEKINE Maya



2018年平取町二風谷下船儀式活動期間關根摩耶接受本誌採訪留影。
2018年平取町二風谷チブサンケで關根摩耶さんが本誌の取材を受けた
ときの撮影写真。

訪問人(陳)：

麻煩您向台灣的朋友自我介紹。

關根摩耶：我的名字叫關根摩耶 (SEKINE Maya)。出生成長在平取町二風谷，今年19歲，現在就讀關東的大學。要說我何時開始接觸愛努語，應該是我出生後還小的時候，映入眼簾的東西我就會說出單字，像是看到雪就會說「upas」，看到烏鴉就會說「paskur」，我所成長的環境會將這些單字用愛努語說出來，雖然我單字記了非常多，但是我沒有看過怎樣活用這些單字，如何將單字融入會話之中的情況，所以像會話我現在還是不太能說，但是愛努語的音聲，發音這類的話，我現在已經稍微會一點了。

取材者(陳)：

台灣の皆様にご自己紹介をお願いします。

關根摩耶：私の名前は関根摩耶(せきねまや)です。平取町二風谷生まれ育って、今19歳で、関東の大学に通っています。私はアイヌ語といつから触れてきたみたいところは、もうなんか、生まれて小さい頃に、一言目に発する単語、雪を見て「ウバシ」であり、カラスを見て「パシクル」みたいな、その単語とかをアイヌ語を発するような環境で育って、ただ単語はすごく覚えたんですけど、それをどのように活用するのか、会話の中にどのように入れ込むのかわからないのが、見ることができなかったの、会話とかすごい全然できないんですけど、アイヌ語の響きであったり、発音みたいのところはすごい、ちょっとできるようになりました。



2018年平取町二風谷下船儀式の前夜祭活動中關根摩耶(中)與父親關根健司(右)介紹廣播愛努語節目。

2018年平取町二風谷チブサンケの前夜式で關根摩耶さん(中)と父親關根健司(右)がラジオアイヌ語講座を紹介。

訪問人(陳)：

請問摩耶是在什麼契機下才開始(擔任)愛努語廣播節目(的講師)？

關根摩耶：契機是有人來詢問我。愛努語廣播教學，這個節目的目的也有培養教導者，所以不光只是所謂能流利順暢講愛努語的老師能當節目講師，還有今後努力學習愛努語的人，也會請他們當老師，請他們一邊學習一邊教學，所以這個節目也有這樣的性質，所以，我之後也打算學愛努語，在大學多方學習，所以愛努文化振興財團就來詢問我，所以我才開始參加節目。

取材者(陳)：

摩耶さんはどのきっかけでアイヌ語ラジオ番組が始まったんですか。

關根摩耶：きっかけは声を掛けられたんですけど、アイヌ語ラジオ講座というのは、指導者を育成するという目的もあって、アイヌ語を流暢に、ペラペラに話せる、いわゆる先生と呼ばれるような人が講師になるだけではなくて、またこれからアイヌ語を頑張っていこうとしている人達に、先生をやってもらって、勉強しながら教えてもらうということをやっている番組でもあって、それで、私がいまからアイヌ語を学習して大学でいろいろ学ぼうとしているということがあって、アイヌ文化振興財団から声を掛けていただいて、始めました。



廣播愛努語講座宣傳照①【講師:關根摩耶(左)、支援研究者:關根健司(右)、節目助理:澁谷Monami(中)】

ラジオアイヌ語講座の宣伝写真①【講師:關根摩耶(左)、支援研究者:關根健司(右)、アシスタント:澁谷もなみ(中)】

訪問人(陳): 請問這個節目是如何決定每週的組成內容與進行方式的呢?

關根摩耶: 首先, 原稿是這個講義, 現在已經出到Vol 3, 現在Vol 2就是照片所拍的, 節目的感覺會順裡面的內容進行, 設計原稿的是我爸爸, 在進行之間會有些地方會採像是隨興談話(free talk)方式, 我可以再稍微講一下這部分, 這部分真的是隨興(free), 除此之外能在這個課程學習的部分, 我會跟我爸爸商討說「如果像這種加進去應該不錯」, 然後我爸爸就會幫我想辦法這樣之類的, 然後這樣做之後, 在進行這次Vol 2錄音的途中, 有想到「如果有加這種下次講義裡面, 應該會滿有趣的吧」這樣的想法就會先筆記下來然後再放進去, 這是像這樣感覺。

取材者(陳): 番組每週の構成や流れというふうに決まられるんですか。

關根摩耶: まず原稿をこのテキスト、今Vol 3まで出て、今Vol 2この写真を撮ってるやつなんですけど、そのなかの内容に沿ってやって感じなんですけど、この原稿を考えるのは父で、その間のフリートークみたいなのがあって、そこは私の生い立ちで大事しているものみたいで、もう少しずつ話せるなんですけど、そこは本当にフリーで、それ以外この講座で勉強するところは、私の父に「こんなのをいれたらいいじゃない」と話をしたり、父が案出してくれたそのままとか、あとはこうやって今回Vol 2をとっている最中に、「次回のテキストに、こんなのがあったら面白いかもね」そういうのはをメモを取って入れて入っているという感じです。

訪問人(陳): 有想到說放一些有趣的東西對吧?

關根摩耶: 沒錯, 會加一些有趣的東西。我(負責)的這次的廣播節目, 之前都塞了滿多的文法, 相當學術性, 這樣的愛努語教學, 可能比較有難度。我的話是想希望教的愛努語是任何人都可以享受其中, 即使是初學者也能容易融入, 所以是以一次15分鐘內, 只要記下一個句型這樣的學習概念。比方說「ku=ipe rusuy na」這樣, 不用記住其他以外的部分, 希望收聽的人能在日常生活中使用「ku=ipe rusuy na」這句話, 這可說是我這一年的目標。因為這次廣播節目是有這樣的目標, 所以才用這樣簡易的講義。

取材者(陳): 面白いものをいれようとする発想がありますね

關根摩耶: そうですね。面白そうなもの。私今回このラジオ番組、今まで文法がぎっしりというのか、アカデミックが結構、アイヌ語講座って、難しいというか。私は誰でも楽しめて、初心者でも入り込みやすいアイヌ語であって、この一回の15分で、ワンフレーズだけ覚えれるというコンセプトで、例えば「ク=イペ ルスイ ナ」みたい、その以外の分じゃなく、「ク=イペ ルスイ ナ」この一言を日常に使えるように、聞いてもらう人々になってもらいたいというのが、私のこの一年の目標というか、今回のラジオはそういう目標で、なので、こういう簡易なテキストを。

廣播愛努語講座的收錄實況①

ラジオアイヌ語講座の収録現場①



訪問人（陳）：現在是用VOL2，從VOL1開始以來聽眾有反映什麼意見嗎？

關根摩耶：好像，讓人開心的是，大學的朋友啊、我認識的人家都有收聽，這果然還是最讓人開心。我還是最喜歡家人跟家鄉的人，為了他們，我想說如果能做些愛努文化相關的事那該多好。家鄉的阿公、阿嬤啊、朋友啊，有對我說「我有收聽噢」、「真的好受用呢」、「我會跟大家推薦呦」。這才是我之前說過的入門篇，因為是設計成適合初學者使用的講義，所以之前的講義好像還是很難，大家比較無法持續學習，但這次大家好像可以輕鬆地持續學習。有人跟我「就是因為這本講義比較簡單，所以我很容易推薦給很多人」，這讓我覺得很開心。還有好像直接在社群網站（SNS）啊、推特啊上受到黃金神

取材者（陳）：今はVOL2ですね。VOL1から視聴者からどんな声が届きましたか。

關根摩耶：なんか、嬉しいのが、大学の友達とかみんな、私の知り合いとか聞いてくれることが、やっぱり一番嬉しくて。私は、やっぱり家族とか地元の人が好きで、その人達のためになりたくて、アイヌ文化を携わることができるならいいなあと考えていて、地元のお爺ちゃん、お婆ちゃんとか、友達とかが「聞いてよ」とかって言って、「すごい勉強になるわ」とか、「みんなに勧めておくからね」とか、これこそ、先に言っみたいな入門編、初心者用に向けたテキストなので、なんか前まだ難しくて、みんなが続けられなかったですけど、みんなが気軽に続けるようにみたくなこととか。「それでちょっと簡単だからこそ、いろんな人に勧めやすい」とってこと言ってもらってうれしいなあという。後はなんか直接にSNSとかツイッターとかでゴールデンカムイとい



廣播愛努語講座的收錄實況②
ラジオアイヌ語講座の収録現場②



廣播愛努語講座的戶外取材。
ラジオアイヌ語講座のロケ。

威這本漫畫的推波助瀾，出現滿多年輕人說「想要學愛努語」，所以好像這群年輕人滿多人會收聽這個廣播教學。然後他們在推特上的回覆會寫說「我每一週都有收聽愛努語教學」，然後這樣的留言會碰巧被其他人看見，這點讓我非常開心。

う漫画のおかげで、結構「アイヌ語を学びたいなあ」という若者が増えていて、その若者達がこのラジオ講座を結構聞いて下さる人がいるみたいで、ツイッターでの反響で、「アイヌ語講座毎週聞いている」というのが書かれていて、こういうのがたまに誰に見せてもらったりして、すごくうれしいなあ。

訪問人（陳）：聽眾的年齡層相當廣泛呢。

關根摩耶：滿廣泛的。真的是大貨車司機先生們早上就！因為是早上7點的節目，所以滿多司機的工作是一早開始開車，所以他們都是這樣收聽的。漁夫的話，因為會在海上一邊作業，一邊放廣播節目，所以每週都有收聽。還有就是一般好意地想要收聽，然後有在收聽的人。真的是有很多不同的聽眾朋友。

取材者（陳）：結構視聽者的年齡層が幅広いですね。

關根摩耶：幅広いです。本当にトラックの運転手の方々が朝、朝七時の番組なんで、結構早朝運転している仕事とか多いで、そういう方が聞いているあたり。漁師の方は、海で作業しながら、流しているので、毎週聞いているとか。あと普通に好意的に聞きたいと思って、聞いてくれる人がいるし。本当にいろんな方が聞いてくれるんです。



廣播愛努語講座宣傳照②
【牌子的愛努語「irankarapte」是問好的意思】，

ラジオアイヌ語講座の宣伝写真②
【看板の「イランカラップ」はアイヌ語の挨拶】。

訪問人（陳）：想請教你對節目的感想與經驗部分。

關根摩耶：我自己至今為止對於愛努語只有學習的經驗，都是站在從別人那學習的立場。但藉由將所學的某些東西，由自己傳達、教導給其他人這件事，讓我深沈感覺到其中的影響力。我本身，其實能力有限。我自己是理解愛努文化，但我得知有人說就算我（摩耶）來教仍是好事一件。

我是愛努人，但我的愛努語完全不像是老師們那樣能流利順暢說出來的感覺，真的還有很多地方是我還要學習的部分。但讓我注意到的是，對有些人來說我的教學是必要的。至今為止雖然我教學的立場像是「那種我還不行啦」這種感覺，但我感受到即使是我的微薄之力，應該是可以稍微透過教學，推廣愛努文化，然後如果能一點一滴地傳達給大學啊、朋友啊這些至今為止完全都沒有接觸愛努的人群的話，那應該挺好的。

取材者（陳）：番組に対する思いや経験を教えてください。

關根摩耶：私自身今まではアイヌ語というのは習うことしかしてなくて、誰かから教わるという立場があったんですけど、それを自分から誰かに何かを伝える・教えるということによって、その影響力みたいなものすごく感じて、私自身、本当に僅かな力しか持っていないんですけど。私のほうがアイヌ文化のことを知っているっていう、私が教えてもそれをためになると言ってくれる人がいることが分かったんですね。

私はアイヌだから、全然アイヌ語とかもそのペラペラできる先生達みたいな感じでもないし、本当にまだまだ勉強することがたくさんあるんですけど、私の教えを必要としてくれる人がいるというのに気付いて。今まで教える立場「そんな、そんなことができません」っていう感じだったんですけど、私の力でも少し教えて、アイヌ文化を広めることができるじゃないと感じて、大学とか友達とか今までアイヌのことなんか全然触れなかった人達に、それをちょっと少しずつ伝えていけたらといいなあ。

訪問人（陳）：假使台灣也要做像愛努語廣播教學一樣的族語節目的話，你會給大家什麼建議呢。

關根摩耶：廣播跟電視不一樣，反而是看不到樣子才有趣。我認為這樣才有可以想像的空間。電視的話，如果要說像這樣的一件東西就用眼睛看，比方說，單字的turep（大姥百合），如果拼命用嘴巴說是白的，說明怎樣的味，像這種就是怎麼說明也無法說明清楚的東西，如果是電視只須看一眼就沒什麼好說了。所以像這種趣味性，我想如果是廣播的話，就可以在想像之中去享受它。想像那個東西後，我認為就會想實際去看一看，就可能會想到實地去走一走，所以廣播能傳達的，就是這樣無法完全知道的趣味性。

訪問人（陳）：最後請您跟台灣的朋友說句話。

關根摩耶：我是北海道的愛努民族，我身為愛努人十分開心也很幸福，真心覺得能生為愛努真的是太好了。因此，包括台灣的朋友，還有日本人、愛努人，希望大家都能對自己的自身文化、自己的文化抱持著榮耀，讓我們打造能將那美好的部分一起共享的社會，各位朋友，讓我一起加油吧！

訪問人（陳）：很感謝這次的採訪。
iyayraykere。◆

取材者（陳）：もし台灣でアイヌ語ラジオ講座みたいな民族語を教える番組を作ることとしたら、どんなアドバイスをしますか。

關根摩耶：ラジオはテレビと違って、逆に見ないからこそ面白い。想像できるというところがあると思いますね。テレビはこんなものなんだってなんで目で、例えば、語のトゥレ（オオウバユリ）とか、一生懸命口で白くて、どんな味で、こんなって明しても明しきれないものが、テレビだったら見えてしまう。だからその面白さみたいなものが、ラジオだったら想像の中でしめると思います。それを想像して 際に見ていきたいなあと思って、現地に行ってみることとかがあると、ラジオで伝えるのは、そういう全部知らない面白さみたいなのです。

取材者（陳）：最後に台湾の皆様メッセージをお願いします。

關根摩耶：私は北海道のアイヌなんですけど、アイヌとしてすごいしくて幸せで、すごいアイヌとして生まれてよかったなあすごく感じていて、なので、台の人も含めて、日本人もアイヌもみんな、自分のその自文化、自分の文化、誇りを持って、その素晴らしいところとかを、一緒に共有したりできる社 にしていきたいって、皆さん、一緒に頑張っていきましょう。

取材者（陳）：本当にありがとうございました。
イヤイライケレ。◆